

# In vitro皮膚感作性試験 h-CLAT (human Cell Line Activation Test) に関する厚生労働科学研究\*の概要

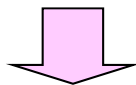
\*: 厚生労働科学研究

「安全性評価のための動物実験代替法の開発および評価体制の確立に関する研究」  
「感作性試験代替法の開発」

# 本研究の目的と概要

## 目的:

1. 感作性試験代替法h-CLATの技術移転性と施設間再現性の確認
2. 試験プロトコールの改良・充実
3. 試験法の汎用性を高める背景データ取得



日本で開発されたh-CLATを国際的な試験法として提案する

## 研究期間:

第一期: 2004年4月より2007年3月

第二期: 2007年4月より2010年3月

## 研究体制:

研究責任者: 大野泰雄

研究協力者: 資生堂、花王、カネボウ化粧品、コーセー、  
日本メナード化粧品、ポーラ化成工業\*、ライオン(順不同)より2名ずつ参加

\*: 第一期のみ参加

# 本研究の目的と概要

## 研究概要:

### 第一期

- ・試験法の技術移転性の確認
- ・施設間再現性の確認
- ・細胞および血清の選択条件、細胞培養条件の検討

### 第二期

- ・化粧品原料におけるh-CLATの有用性の検証
- ・h-CLATの信頼性を向上させる研究

- 結果の多くは論文化され、プロトコールに取り入れられただけでなく、国際pre validationの申請資料に活用された。
- 多くの化粧品素材の感作性予測にも有効であることがわかった。

詳細は各研究担当者から報告いたします。

# 社会の反響と今後

本試験法は何度かマスコミに取り上げられるなど、社会的にも大きな関心が寄せられました。

2006年6月 日経バイオテク

2006年8月26日 日経新聞

2007年2月15日 日経産業新聞

2009年6月27日 大分合同新聞

日本で開発されたh-CLATを国際的な試験法とすべく、今後とも鋭意取り組んで参ります。